

第1回右京区基本計画策定委員会 摘録

日 時：平成21年6月22日（月） 午前10時～正午

場 所：右京区役所 5階大会議室1

出席者：土井座長，神吉副座長，石川委員，石田委員，岩澤委員，大西委員，奥田委員，高岡委員，高屋委員，永橋委員，新妻委員，林委員，松井委員，宮崎委員，森委員，山下委員，久保田顧問

欠席委員：久保委員，坂口委員，中川委員，中沼委員，原委員

事務局：高溝区民部長，松葉総務課長，森まちづくり推進課長，山口京北出張所長，土居総務課担当課長補佐，太田総務課担当，橋本総務課担当，朝倉京都市まちづくりアドバイザー，西原京都市まちづくりアドバイザー，松尾地域計画建築研究所計画部次長，石井地域計画建築研究所技術参与

内 容

1 あいさつ

久保田右京区長からあいさつ

2 委員紹介

事務局から委員を紹介

3 座長選出 座長に土井委員，副座長に神吉委員を選出

4 次期右京区基本計画の策定について

事務局： 資料に基づき説明

（部会について）

委員： 部会を3つに分ける考え方について教えてほしい。

事務局： 昨年度（平成20年度）から，住民円卓会議を組織しワークショップ形式で地域の課題などを議論してきた。その課題を「豊かな自然と住みよい環境」「地域活動と人づくり」「安心・安全のまちづくり」「歴史と文化のまち」「都市基盤と生活基盤」という5つの分野に分けている。

策定委員会では，運営やスケジュールの関係で3つに分けた。

例えば「地域活動と安心・安全のまちづくり」については，「安心・安全のまちづくり」と「地域活動と人づくり」をドッキングさせた。「都市整備と生活基盤」では，生活していくうえで「都市環境」が大切な問題であることから「環境」という言葉をあえて入れた。

座長： 「5つの範囲で議論していったものを，3つにまとめた」ということですね。だから，最終的に「基本計画を，どうまとめるか」が大事なところです。大きな枠組みから進めていくのは，進め方の問題で，理屈で分けたのではないという説明です。

5 次期右京区基本計画の策定方針について

事務局： 資料に基づき説明

意見・質問等なし

(スケジュールについて)

座長：平成21年度は素案までまとめるわけだが、第2回目の委員会で素案のイメージを事務局から示してほしい。

平成22年度に「パブリックコメントの実施」となっている。「パブリックコメントの実施」の前に、基本計画の原案ができていないと、パブリックコメントができないので、基本計画の元になる案というものを書く必要がある。

住民円卓会議の議論の成果が原案に入っていて、基本計画策定委員会の中で議論をして意見をまとめ、「パブリックコメントの実施」をしていく、ということになる。

そして、パブリックコメントの内容を、基本計画策定委員会の中で議論をして、最終的な基本計画をまとめていくというスケジュールになると思う。

(委員会の運営について)

委員：策定委員会だけで決めていくのではなくて、区内の地域でも、十分議論できる機会が持てるのか。

事務局：平成20年(昨年)度に住民円卓会議を開催し、その中で地域の課題を議論している。21年度も、住民円卓会議は継続して開催をしていくので、各地域の課題については、「解決にむけて」という議論の場を設けていく予定である。

また、住民円卓会議の各ブロック議長が策定委員会の委員になっているので、住民円卓会議の議論も反映される。

委員：3つの部会が合同で、意見の交流を行うことも考えているのか。

事務局：各委員は3つの部会の内、必ず1つの部会に入る。けれども、完全に3つに分けられる分野ではないので、他の部会には自由に参加できるようにしたい。

委員：了解しました。

座長：部会で、「一緒にやったらどうだ」という話が出れば、合同でやれば良いのではないか。ただ、無理矢理一緒にやることはないと思う。

先ほどの「地域の意見をどうくみ上げていくか」ということについては、住民円卓会議の議論をきめ細かく行い、その課題を基本計画策定委員会の方で反映するという事です。

他に御意見ありますか。

— 意見なし —

(部会の構成員について)

座長：基本計画策定方針について、策定委員会では、部会を3つづくり、より細かい議論をやっていくという非常に重要な点がある。

部会の構成員については、事務局案があったのだが、委員の意思が入っていないので、主体的に自分たちでまちをつくるというスタートラインを考えた。

各委員に参加したい部会を希望してもらって決めていきたい。各部会の人数のバランスがあまりにも悪い場合は、第2希望のところに入ることをお願いしたい。

よろしいでしょうか。

－ 意見なし －

(まちづくりについて)

座長： 「まちづくり」というのはストライクゾーンがとても広い言葉です。前回の「右京区来夢らいと計画 21」のときに「まちづくり」という言葉を定義しようと真剣に思った。それで、「まちづくり」というのは「地域の住民が、主体的に自立的に継続的に取り組む環境改善運動である。」と考えた。この「地域の住民」というのは、企業・行政も入ると思す。その住民の人たちが「主体的に」つまり自分のことですが、「自立的に」、「自立」は自分が律することです。「継続的に取り組む環境改善活動」、つまり地域の環境を良くしていくことです。「活動」というのは、取り組んだら終わりが無い。普通のプロジェクトは、必ずスタートがあって終わりがあります。これが「プロジェクト」とか「仕事」のスタイルですけれども、「活動」はずっと続けていくものです。ですから、「まちづくり」というのは、ずっと続けていくものだ、というふうに定義しました。

部会分けの発表

それでは、こういうかたちで部会を進めますので、よろしくお願いします。

最終的に、欠席の委員を含めて全体の部会の委員の構成を、事務局から各委員に連絡してください。

ここまで、4つの次第を終わりましたが、全体を通して、意見・質問がありますか。

－ 意見なし －

座長： これで議題は終わりとします。

これから、部会毎に分かれて、顔合わせと今後の運営などを話し合ってください。

できれば、ワークショップ的に30分ぐらいで話し合い、発表をしてください。

6 今後の運営について

事務局： 部会ごとに分かれ、意見交換等をお願いする。